

第1号

公共施設再配置 長穂かわら版

【発行】行政改革推進室 TEL:0834-22-8202

ワークショップを開催

平成27年12月13日(日)に、長穂公民館において長穂地域モデル事業の第1回ワークショップを開催しました。長穂地域の住民の皆さんと徳山工業高専専門学校専攻科環境建設工学科専攻の学生さんや先生に市職員を加えた、55名が集まり、ワークショップがスタートしました。

10代(中学生)や20代・30代の若者もたくさん参加してくれました。今後、長穂地域の問題や課題、長所などを整理した上で、数十年後の地域の将来像を描き、それに向けて公共施設の再配置を議論していくことになります。幅広い年代の参加で有意義な意見交換が期待され、大変嬉しい限りです。

第1回ワークショップのプログラム

開催日：平成27年12月13日(日)(午前9時30分～午前11時30分)

- あいさつ(行政改革推進室長、住みよい長穂をつくる会 重國会長)
- オリエンテーション(総合ファシリテーター 上野さん)
- 公共施設の現状と再配置の進め方(行政改革推進室 道源主幹)
- これからの地域づくりとは(地域づくり推進課 沖田主任)
- 長穂夢プランの取組状況の説明(長穂夢プラン実行委員会 杉原委員長)
～休憩～
- 体ほぐし
- ウィッシュポエム「私たちの長穂、○○だったらいいね」

第2回ワークショップのご案内

日時：平成28年1月24日(日)9時30分～11時30分

会場：長穂公民館2階 大講座室

内容：「私たちの長穂、もう一度見つめてみよう」

- ①第1回ワークショップのおさらい
- ②長穂地域に関するデータなどの共有
- ③話し合い(予定)
 - ・長穂地域の良いところ、好きなところ、自慢できるところ
 - ・長穂地域の気になるところ、不足しているところ
 - ・改善するためにやるべきこと(課題)や対策

※「毎回の参加が難しい…」という方、一度だけでも大丈夫です、ワークショップに参加してみんなで長穂地域の将来、長穂地域の公共施設について考えませんか。皆さんのが参加をお待ちしています。

※新たに参加を希望する方や事前に欠席することが分かっている方は、出来るだけ事前に連絡をお願いします。

連絡先：長穂支所(88-0401)

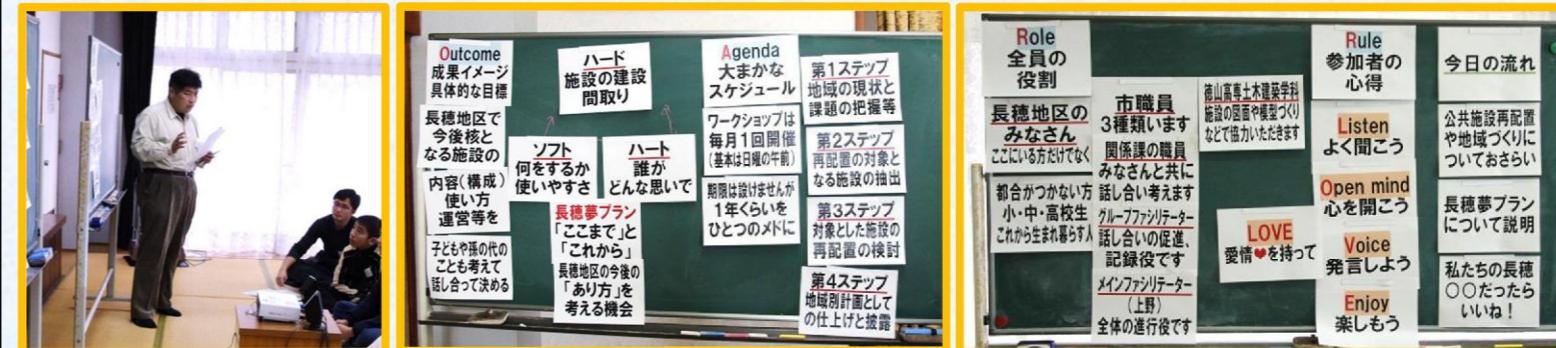
○オリエンテーション(総合ファシリテーター 上野さん)

ワークショップの最初に、ワークショップの基礎知識や目的などの共有のため、総合ファシリテーターである市職員の上野さんによるオリエンテーションがありました。

[ワークショップとは] 学びの場でのワークショップは「参加体験型グループ学習」と呼ばれています

[ファシリテーションとは] 皆さんの話し合いがより良く進むように促進・支援していくことです

[ファシリテーターとは] ファシリテーションを行う人のことです



・具体的な目標 長穂地域で今後核となる施設の内容・使い方・運営等を子供や孫の代のことも考えて話し合って決める

・3つの視点 ①ハード：施設を建てることが一つの目的(施設の建設間取りなど)

②ソフト：施設で何をするか、使いやすさ、など

③ハート：誰が、どんな思いで、など

・長穂夢プラン 長穂地域は長穂夢プランを策定し活動をしている

自分たちの地域は自分たちで良くしていこうと活動している

・モデル事業のワークショップが長穂地域の今後のあり方を考える機会

・大きなスケジュール ①ワークショップは毎月1回のペースで開催(基本は日曜の午前)

②期限、開催回数は設けないが、1年を一つの目途にまとめていく

・検討の流れ 4つのステップで進める ⇒ 【第1ステップ】地域の現状と課題の把握等

【第2ステップ】再配置の対象となる施設の抽出

【第3ステップ】対象とした施設の再配置の検討

【第4ステップ】地域別計画としての仕上げと披露

・参加者全員の役割

<長穂地域の皆さん>

参加者、都合がつかない方(参加できない方)、小中高校生、これから生まれ暮らす人(将来の施設使用者)も含めて考えていきます

<市職員>

①関係課の職員：皆さんとともに話し合い考えます

②グループファシリテーター：話し合いの促進、記録役です

③メインファシリテーター(上野さん)：全体の進行役です

<徳山工業高等専門学校専攻科環境建設工学科>…ワークショップに参加するとともに、施設の図面、模型づくりなどでも協力します

・参加者の心得

頭文字をとると
"Love"
となります！！

(Listen) 他の方の意見もしっかりと聞こう！

(Open mind) 市職員、高専の学生・教授も参加するが同じ目標に向かっていく仲間なので心を開いて取り組もう！

(Voice) 是非積極的な発言を。様々な立場の人が意見を発言すれば、計画内容も充実したものになります。少し喋りすぎる人は気を付けてみましょう！

(Enjoy) 堅苦しい話もあるかもしれませんのが、楽しみながらやりましょう！

○重國会長あいさつ(住みよい長穂をつくる協議会)

- ◆小学生から長寿会まで、多くの方に参加していただいている
- ◆ワークショップは1回だけではないから、他の方にも多く参加してほしい
- ◆厳しい状況の中、長穂の地域・施設はどうするか、地域も財政も厳しいが、住みよい長穂にするためには施設は必要
- ◆要望を全て言ってダメ、地域の身の丈に合った施設を考えることが必要「本当に必要か」、「将来どうしていくのか」を考える必要がある
- ◆上手くモデル事業が進むかは、皆さんのやる気にかかるので、皆さんと進めていかないと良い地域・施設にならない
- ◆長穂がモデル地域に選定されたのだから、実績を出さないといけない
- ◆忌憚のない意見を行政に上手くまとめてもらい、住みよい地域を目指したい

【課題】

- ・支所公民館の新築移転、その規模・使用分野の検討
- ・その他公共施設も含め、「住みよい長穂」を皆で検討し
つくる



重國会長

○長穂夢プラン(平成25年4月策定)の内容や取組み状況

【長穂夢プランは3本立て】

- 高齢化対策 ○環境・美観対策 ○地域活性化対策
- ◆高齢化対策(みんなで助け合い安全で安心な暮らしの出来る地域をつくろう)
 - 暮らしの困りごとを助け合おう ○自宅での生活を支援しよう
 - 生きがいを創ろう
- ◆環境・美観対策(自然を守り美しい地域をつくろう)
 - 田畠の荒廃を防ごう ○環境動物の保護に努めよう
 - 長穂小前を綺麗にしよう ○亀山の開発をしよう
- ◆地域活性化対策(地域の資源を守り活性化を図ろう)
 - 地域内外との交流の場をつくろう ○長穂米の販売をしよう
 - 名物野菜や料理の開発をしよう ○人口を増やそう
 - 地産品の販路拡大を目指そう ○広報活動を使用

【各部会の今後の展開と課題】

- 高齢者対策部会
 - ・高齢者サロンの開催⇒各自治会館の悪い立地条件
 - ・シルバーお助け隊の活動充実⇒更なる充実に向けたマンパワーの確保
- 環境対策部会
 - ・亀山の整備⇒活動人員の確保
- 地域活性化部会
 - ・軽トラ市の継続⇒集客・企画運営方法の見直し
 - ・朝市の拡大⇒知名度の向上による集客の確保
 - ・里の案内人⇒空き家の活用
 - ・特产品的ブランド化⇒圃場整備事業に絡む営農法人との連携



杉原委員長

○公共施設再配置について…「市の公共施設の状況」や「モデル事業の目的、内容」

【公共施設の状況】

- ◆市の公共施設 1,114 施設の約 6 割が整備後 30 年を経過し一斉に更新時期を迎えており
- ◆老朽化の影響 (○安心して安全に使用できなくなる恐れがある ○維持管理コストが増加 ○大規模改修や建替えが必要)
- ◆今後 40 年間で更新費用の約 30% が不足

【周南市公共施設再配置計画の策定】

「市民が必要とするサービス」を今後も将来にわたり維持・提供することを基本とし、「公共施設の最適な配置」と「財政負担の軽減」等に向け取り組むこととし、周南市の身の丈に合った公共施設の実現を図る

<地域別計画の作成>

- 地域ごとの施設をどのように再編再配置していくかを示す計画
- 地域住民の方々と行政が一緒になって共に協働作業で作成
- モデル事業でつくっていく計画も地域別計画！！



道源主幹

【モデル事業とは】

今後、公共施設の再配置を市民の皆さんと行政が一緒になって取り組んでいくにあたって、実際の取り組みを通じて「公共施設の再配置とは何なのか」「どのように進めていくのか」を市民の皆さんに理解していただくために実施するお手本となる取り組み

○これからの地域づくりとは



沖田主任

- ◆全国で少子高齢化、人口減少が進んでおり、45 年後の 2060 年の国の人口は 8,600 万人まで減少地方では人口半減の時代が到来することが予測されており、周南市においても、10 年後には約 1 万人減少する予測
- ◆地域の皆さんの暮らしの中に、解決することが難しい課題(高齢者世帯増加、担い手不足、空き家の増加等)が徐々に増えてきているが、これらの課題は市・行政だけで解決できるものではなく、地域の皆さんの力が是非必要行政と地域の皆さんと一緒にやって取り組むことで解決できることである
- ◆地域づくりは地域の皆さんと市が丁寧な「話し合い」を重ねていくことで進めていくものであり、10 年後 20 年後どのような地域にしていきたいのか、施設のあり方も含めて考えていくことが必要

まるまる ワークショップで考え発表した【私たちの長穂、〇〇だったらいね】 参加者が思い描く「〇〇」を紹介します！！

